

ダイファシン系粒剤 ヤソヂオン	取扱メーカー： 大塚薬品，一農，琉産 原体メーカー： ——
成分： ダイファシノン.....0.0050%	性状： 淡褐色粒状（1粒は約0.1g） 毒性： 劇物 消防法： ——

【品目特性】

- 殺ソ剤の中で喫食性が優れている。
- 累積毒性のため3～4回の連続摂取が必要であり，効果が現れるまでに2～3日かかる。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

【使用上のポイント】

- 四季を通じ，いつでも効果を発揮する。

【安全対策上の注意】

- 子供や家畜等が誤食するおそれのないように毒餌を配置，又は，使用をさける。
- 作業後は顔，手足などを石けんでよく洗う。また直接身体にふれたときは石けんでよく洗う。
- 実施後，残った毒餌や空容器は適切に処理する。
- 食品や飼料と隔離し，誤食しないように保管する。



【適用と使用法】

作物名	適用場所	適用害獣名	使用量	本剤の使用回数	使用方法	ダイファシン系を含む農薬の総使用回数
野ソが加害する農作物等	農地	野ソ	200～300g/10a	—	1. 手まきによる防除 a) 本剤10～20gをそのまま，あるいは10～20gの小袋詰をソ穴に投入するか，野ソの通路に配置する。又，休耕地等は10m×10mの格子状に本剤をそのまま，あるいは10～30gの小袋詰を1個所20～30gの割合で適宜配置する。 b) 本剤5gをそのまま，あるいは5gの小袋詰をソ穴に投入するか，野ソの通路に配置する。又，果樹園，桑園等は5m×5m又は4m×4mの格子状に1個所に本剤5gをそのまま，あるいは5gの小袋詰を1袋配置する。 2. バイトボックスによる防除 10アール当たり，バイトボックス約4個を適宜配置する。1個当たり本剤50g～70gを使用する。	—
	山林				1. 手まきによる防除 本剤10～30gをそのまま，あるいは10～30gの小袋詰を1個所20～30gの割合で造林地及びその周辺30mに10m×10mの格子状に適宜配置する。 2. ヘリコプターによる防除 造林地及びその周辺30mに所定量を空中散布する。	
さとうきび	さとうきび畑				ヘリコプターによる防除 所定量を空中散布する。	